

霞ヶ浦の野鳥

年 組 番
名前

野鳥



オオヨシキリ / ヨシキリ科



ミサゴ / ミサゴ科



マガモ / カモ科



ユリカモメ / カモメ科



オオバン / クイナ科



ダイサギ / サギ科



オオヒシクイ / カモ科



オオタカ / タカ科

水^{みず}辺には、食^すべ物や巣^{ぼしょ}の場所、ねぐらをもとめてたくさんの鳥^{あつ}が集ま^{あつ}てきます。夏になると、水^{みず}辺に広がるヨシ原で「ギョギョシ ギョギョシ ケケス ケケス ケケス」と鳴くオオヨシキリの姿^{すがた}やヨシゴイなどの夏鳥^{なつどり}が見られ、ツバメやスズメがねぐらをつくるためにおれをなしています。冬になると、マガモやコガモ、ハシビロガモなどのカモ^{なかも}の仲間や、ユリカモメといった、たくさんの冬鳥^{ふゆどり}が冬をこすために湖をおとずれます。これらの鳥や湖の魚などをねらって、オオタカやミサゴなどの猛禽類^{もうきんるい}もやってきます。稲敷市^{いなしきし}の稲波干拓には、関東地方でたった1カ所のオオヒシクイの越冬地^{えっとうち}となっており、毎年冬に60羽ぐらいがとんできます。

* その他学習資料 霞ヶ浦環境科学センター・霞ヶ浦河川事務所